

シマアジの採卵についてーII

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 虫明, 敬一, 河野, 一利, 長谷川, 泉 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014339

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



シマアジの採卵について—II

虫明敬一，河野一利，長谷川泉

シマアジの良質卵およびふ化仔魚の大量確保を目的に，水温調整ならびにホルモン剤の使用による産卵試験を行うとともに産出卵の取り扱い方法について検討した。産卵を確実に生起させるには加温とホルモン処理との併用が最も効果的であると考えられた。無処理では4月上旬から5月末の間に水温 16.4～22.9°C の範囲で産卵が確認された。水温の上限を約 20°C に抑えることによって6月17日まで採卵でき，長期間にわたるふ化仔魚確保が可能となった。卵の取り扱い方法を掬い取り法に改善した結果，従来の方法の約3倍の効率でふ化仔魚生産が可能になった。

栽培技研，18(1)，15-24 (1989)